



第 14 回 科学巡回指導訪問・教員対象研修会

白石市立白石第一小学校

令和6年10月8日

デモンストレーション

- 液体窒素で極低温の世界へ
- 空気砲 発射！
- 空高く舞い上がれ 熱気球
- 飛べ！ペットボトルロケット

教育対象研修会

- 講義「小学校の理科指導」
- 演習「全国学力・学習状況調査の結果を活用した授業改善」
- 理科教育相談、薬品の取扱いと管理

理科教室

- 実験教室 4年生
 - ・ジューズ電池
 - ・木炭電池
 - ・芯電球
- STEAM教室(MESH) 5年生
- プログラミング教室 (BOLT) 6年生

感想

わたしがとても勉強になったことは、液体窒素と木たん電池です。液体窒素では、温度が -196°C で一度水につけるとものがこおることなどを学びました。木たん電池は炭とキッチンペーパー、アルミホイルで電池を作ることができてとてもびっくりしました。最後のシャープペンの芯で光をはなつところがびっくりしました。(4年生)

心に残ったことが2つあります。1つ目は、最初に実験した液体窒素にバラを入れ、こおって粉々になったのがびっくりしました。また、その他のボールが砕けたり、風船が縮んだけれど元通りになったりとすごかったです。2つ目は、ペットボトルロケットです。あんなに飛ぶとは思ってなく水と空気の力はすごいと思いました。その他の気球も学校より高く飛んでおりびっくりしました。実験することで新たな発見やわくわくを感じ、学ぶことができました。今回の体験を通して、理科や科学の楽しさが感じられました。また、理科が前より好きになりました。(5年生)

私が科学巡回訪問で心に残った授業は、プログラミング学習です。理由は、BOLTをiPadを使って操作するのが楽しかったからです。液体窒素の実験では、液体窒素は -196°C であることがわかりました。巨大空気砲の実験では、空気の流れについて学びました。理科の授業では、液体窒素に興味を持ったので、水溶液についてもっと学んでいきたいです。(6年生)

